

事 務 連 絡

平成29年12月 5日

剣道部顧問 様

下記の件について宜しくお願いいたします。申込書は、ダウンロードしてご記入ください。

1. 剣道称号（錬士・教士）推薦認定会について
2. 剣道八段受審者講習会について

希望者は、申込書に受講料または審査料を添え2月1日（木）までに、書留にて申し込み下さい。

教士を受審される方は、あらかじめ受審申請書を記入し、当日持参してください。

称号推薦認定会にあたっては、1年以内に講習会を2回受講していること。剣道手帳の講習会等の欄のコピーも添えて下さい。

審査料 錬士 7000円
 教士 9000円

受講料 八段 3000円 です。

問い合わせ・申込先：埼玉県剣道連盟高校剣道連盟事務局
 埼玉県立浦和高等学校内
 森田 一成

〒330-9330

さいたま市浦和区領家5-3-3

TEL 048-886-3000

FAX 048-885-4647

埼 剣 連 第 259 号
平成 29 年 12 月 4 日

各 加 盟 団 体 長 様

公益財団法人 埼玉県剣道連盟
会 長 山 中 茂 樹

剣道・居合道・杖道 称号（錬士号及び教士号）推薦認定会の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施いたします。

つきましては、該当者に受審（受講）資格等を周知徹底の上、申込個票で申し込んでください。

記

1. 日 時 平成 30 年 2 月 17 日（土） 午前 9 時 10 分受付開始
午前 9 時 40 分受付終了
午前 10 時開始
2. 会 場 埼玉県立武道館 主道場 剣道・杖道
第二道場 居合道

3. 受審資格

- ①錬士号：六段受有後 1 年以上を経過（平成 29 年 5 月 31 日以前に取得）した者
五段受有後 10 年以上を経過（平成 20 年 5 月 31 日以前に取得）し、
かつ、年齢 60 歳以上の者（第 11 条 2 項による特例）
- ②教士号：七段受有後 2 年以上を経過（平成 28 年 5 月 31 日以前に取得）した者
- ③埼剣連称号推薦認定会の 1 年以内（平成 29 年 2 月～平成 30 年 2 月）に埼剣連派遣講師の講習会を 2 回受講していること（剣道手帳の写しを添付）

4. 審査内容

- ①剣 道：日本剣道形・審判法・指導法等の知識、実技について能力の認定を行う。
- ②居合道：実技、審判法を行う。
- ③杖 道：指定 6 本、仕と打を交代して行う。
- ④指導法：「小論文」を当日受付に提出する。

- (1) 錬士問題 「剣道指導の心構え」について述べなさい。
 - (2) 教士問題 「剣道における指導のねらい」について述べなさい。
- (注) 居合道、杖道は、それぞれに置き換えて述べなさい。
- ・原稿用紙 (A4 横書き、400 字づめ). 1 枚使用 手書き

- ※・社会体育指導員上級認定者は、全剣連で行う教士筆記試験は、免除される
- ・社会体育指導員中級認定者は、全剣連で行う錬士小論文提出は、免除される。

5. 提出及び持参するもの

【教士】

- ① 小論文
 - ② 剣道具・木刀
 - ③ 事務手続き上、事前準備として「教士受審申請書(本人用)」を全員自筆で記入の上持参ください。合格者のみ提出してもらいます。
 - ④ 印鑑・写真(3センチかける4センチ)貼らずに持参
 - ⑤ 社会体育指導員上級認定者は、認定書の写し
- ③④⑤は合格者のみ当日提出

【錬士】

- ① 小論文
- ② 剣道具・木刀

- #### 6. 審査料
- 加盟団体ごとに取りまとめ埼玉県剣道連盟へ郵便振り込みしてください。

錬士 7,000 円 教士 9,000 円

- #### 7. 申込期限
- 平成 30 年 2 月 5 日 (月) 必着

- #### 8. その他
- 当日午後の剣道八段受審者講習会終了後に稽古会を開催します。多くの方の御参加をお願いいたします。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号
平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。
*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

フリガナ	
印	

(旧姓)

フリガナ

2 生年月日

年	月	日	生	年齢	満	歳
---	---	---	---	----	---	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称号	錬士	段位	段
取得年月		年月	
登録県名		登録県名	

取得年月

登録県名

5 全剣連番号

顔写真を貼って
から提出し
てください
(3 cm × 4 cm)

6 住所

〒

7 電話番号

<input type="text"/>	携帯番号	<input type="text"/>
----------------------	------	----------------------

8 職業

現職	<input type="text"/>	前職	<input type="text"/>
----	----------------------	----	----------------------

※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成 年 月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

剣道 居合道 杖道 審査会申込書

加盟団体No		加盟団体名		申込日 平成 年 月 日							
38		高校									
受審項目を○で 囲んでください		審査会場		審査日時		1日目 2日目					
初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審	実技合格月日
										形	学科
全剣連番号		現段級位受領年月日		現段位登録申請県名		錬士受領年月日					
		昭 平 年 月 日									
氏 名		旧 姓		性別		生 年 月 日		年 齢			
カガナ				男		大					
氏名				女		昭 年 月 日		平			
〒		住		所		電 話 番 号					

職業番号を○で囲んでください

1 中学生	2 高校生・大学生・専門学校等	3 警察官	4 自衛官
5 教 員	6 公務員	7 会社員	8 自営業
9 農林水産業	10 主婦	11 その他	12 無 職
学校名		学年	下部団体名

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

----- キリトリ -----

加盟団体控え

申込日 平成 年 月 日

カガナ		審査日時									
氏名		審査会場									
受審項目を○で 囲んでください	初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審
											形
〒	住		所		電 話 番 号						
学校名			学年			下部団体名					

「審査会申込書」記入上の注意事項

※ 下記の注意事項に従い、記入もれや誤記がないよう、証書で確認し、かい書で丁寧に記入してください。誤記があると、合格者全員の証書の交付が大幅に遅れます。

※ 審査会申込書は、各自の所属する加盟団体の受付要領に従い、加盟団体へ提出してください。

※ 個人情報保護法への対応について

申込書に記載される個人情報(登録県名、称号、段位、漢字氏名、仮名氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等)は(財)全日本剣道連盟及び(公財)埼玉県剣道連盟が実施する審査会運営のために利用します。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人化情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがあります。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがあります。

1 審査会申込書 受審する項目(剣道、居合道、杖道)を○で囲む。

2 申込み日時 申込書を各加盟団体に提出する月日を記入する。

3 加盟団体No 下記の加盟団体の整理番号を記入する。

1 草加 6 杉 戸	11 行 田	16 川 越	21 川 口	27 大 宮	32 深 谷	37 警 察
2 八潮 7 久 喜	12 所 沢	17 飯 能	23 蕨	28 上 尾	33 寄 居	38 高 校
3 越谷 8 幸 手	13 東入間	18 西入間	24 戸 田	29 鴻 巣	34 本 庄	39 居合道
4 吉川 9 加 須	14 狭 山	19 東松山	25 朝 霞	30 北 本	35 秩 父	40 大 学
5 春日部 10 羽 生	15 入 間	20 小 川	26 浦 和	31 熊 谷	36 小 鹿 野	41 杖 道

4 加盟団体名 上記の加盟団体名を記入する。

5 受審項目 受審しようとする、初段～八段、錬士、教士、再審のいずれかを○で囲む。再審は、形、学科のいずれかを○で囲み実技合格年月日を記入する。審査会場、審査日時の項目は受審者すべてが記入する。審査日時1日目、2日目の項目は、八段受審者のみ希望の日を○で囲む。

6 全剣連番号 現段位の証書に記載された全剣連番号を記入する。誤記入、記入もれが多いので注意する。現段位を他県で登録申請した者は、特に注意する。初段受審者は記入しない。

7 現段級位受領年月日 現段級位の証書に記載された年月日を和暦で記入する。現段位受有後、下記規定の修業年数に満たない者は受審できない。

初段 一級受有後30日以上で、 受審日に満13歳以上の者	五段 四段受有後4年以上修業した者
二段 初段受有後1年以上修業した者	六段 五段受有後5年以上修業した者
三段 二段受有後2年以上修業した者	七段 六段受有後6年以上修業した者
四段 三段受有後3年以上修業した者	八段 七段受有後10年以上修業し、 年齢46歳以上の者

8 現段位登録申請県名 初段受審者は記入しない。登録申請をした県名を記入する。東京都の場合は、区まで記入する。

9 錬士受領年月日 教士受審者のみ記入する。錬士の証書に記載された年月日を和暦で記入する。

10 錬士、教士受審資格 錬士 六段受有後1年以上経過した者。
教士 錬士受有者で、七段受有後2年以上経過した者。
埼玉連派遣講師の講習を年度内に2回以上受講していること。
剣道手帳の「講習会参加確認印ページ」上部に氏名を自筆し、A4版でコピーを取り、審査会申込書の裏面にのり付けする。

11 氏名、住所 振り仮名は片仮名で記入する。生年月日は和暦で記入する。年齢は受審日を起算とする。旧姓は現段位の証書に記載されている姓を変更する場合のみ記入する。

12 職業欄 該当する職業の番号を○で囲む。
1, 2に該当する者は学校名、学年を記入する。

13 下部団体名 活動している○○道場、○○剣友会、○○スポーツ少年団、学校名、等を記入する。

14 加盟団体控え 審査会申込書に記入した項目と同じ事項を記入する。